

魚津ロータリークラブ会報誌

2015-2016年度 R I 会長 K.R. ラビンドラン

2015-2016年度 魚津RC会長 羽田 陸朗



第3010回 例会

2016年 3月 11日

- 1、点鐘・握手
- 2、黙祷（東日本大震災の御霊安らかに）
- 3、ロータリーソング「我等の生業」
- 4、ゲスト・ビジターの紹介 なし
- 5、誕生祝 なし

6、会長挨拶(羽田会長)



・只今は3・11大震災の黙祷をさせていただきました。
いろいろなマスコミが東北大震災や福島原発事故について報道されています。
アメリカやフランスはじめ全世界で原発事故について報じています。日本でも最近裁判所が判決で原発稼働停止を命じています。

- ・大震災を起こす津波の発生は防げないし、予測も難しい。
ですから減災が叫ばれています。
その為には、日頃から避難場所の確認・訓練や水・食料品などの準備が大切です。
- ・魚津市では公園や電柱などに標高の標識があります。私も一番高い所はどこだろうかかと気がかかります。サンプラザの立体駐車場がいいのかと考えたりします。
地域で、家族で、従業員で、話をして準備して欲しいと思います。
- ・大震災、決して忘れてはならない。
- ・富山湾にも900年前の津波の痕跡が見つかったと報じられています。
私たちが3・11の教訓を忘れないように、日頃からの対応が必要です。
- ・ロータリーは「水と衛生」月間です。水の準備をしておきましょう。

7、幹事報告(川岸幹事)



- ・4月29日(昭和の日)祝日につき、例会は休みです。
- ・根岸さんの状態については、療養されています。
早く元気になって、例会に出席待っています。



8、出席報告(仙丸出席委員長)

- ・本日の出席は26名、欠席は5名、出席率は83.33%でした。
- ・第3008回の修正出席率は、メイクアップがなく、75.86%そのままでした。

9、ニコボックスの報告(坪野ニコニコボックス委員長)



- (1)宮本先生よおり、欠席お詫びいたします。
インフルエンザが流行っています。お体を大切に。
- (2)野沢さんから、明日から1泊2日で志賀高原へスキーに行きます。
- (3)坪野さんより、娘が志望大学校に合格いたしました。
皆さんから、ひと際大きなお祝いの拍手がありました。
おめでとうございます。

10、卓話 寺崎さんより、テーマ「私の一年」

- 私の一年は豊川稲荷への初詣で始まります。25年間続いています。
魚津から6名、滑川で1名、計7名でマイクロバスで、12月31日午前10時出発します。
豊川稲荷には午後4時～4時30分ごろには到着します。
- 床暖房のきいた部屋へ案内され、お茶と蒸し菓子がでてまいります。そして、赤い御前、御椀でお酒と精進料理を頂きます。
午後7時頃から、食事が終わり門前町へ 1時間程出かけます。
帰ると風呂を頂き、紅白歌合戦を見ながら寝床に入ります。
- 豊川稲荷は、日本三大稲荷の一つで曹洞宗のお寺ですが鳥居があります。
豊川閣といい、三万坪の敷地で、杉の大木が生い茂る鬱蒼とした林の中にあります。
名前のお通り、狐塚があり、50メートル位の参道を歩くと周囲にのぼり旗がずーと
1000本程並んで立っており、大黒天、不動さんなどを祀る祠があります。
皆さんは大黒天の石を削って財布に入れると金持ちになるということを信じています。
大黒天様などの仏様が安置されています。
狐塚には千匹以上の石像がり、背中がぞく～とする感じのする幽玄の世界であります。
岩に沢山の穴があいています。その中にお金が入っています。そーと取って財布に
入れると一年中お金に困らないと言います。しかしその十倍にして返さなければなりません
自分のお願い事を書いておいて来ます。
- 豊川稲荷の本尊は「タキニテン」という「聖観音菩薩」です。
神様が稲穂をかずいて狐にまたがっている百姓の神様です。
その御神体を頂いて、自宅・事務所の神棚に祀ってあります。
- 翌1月元旦 午前1時30分頃、お坊さんが「起床の時間ですよ」
という言葉で起き、顔を洗って、本殿にお詣りします。
ウグイス張りの廊下を「きゅー」「きゅー」と音をたてて、本殿に
行きます。お坊さんが15～16人で祈祷されています。皆さんで神様・仏様をお詣りします。
会社の実印を前に広げて、和尚さんから一人一人名前を呼んで祈祷してもらいます。



- 午前2時30分頃、部屋に帰り、1時間程寝ます。
朝食に雑煮が出ます。
- 午前4時30分頃、車で豊川を出発します。
午前11時頃、魚津に到着します。
それから、家で雑煮を頂き、村のお寺「常念寺」へ新年の
挨拶に行きます。
- 私には、豊川稲荷詣りより、一年が始まります。
•御利益については、幾つかの思い当たる節があります。

(1)平成7年頃、日本カーバイドの厚生会館改修工事において、危機一髪、重大事故を逃れました。

(2)平成9年、脳梗塞になりました。全くの早期発見でした。

(3)平成12年、本当に脳梗塞になりました。3週間入院しました。

今、このように全快しました。

豊川稲荷様のお陰と感謝しています。

(4)私は、これまで個人・会社共、金の支払いに困ることはありませんでした。

(5)一時、仲間の左官さんの従業員が落下事故で骨盤骨折しました。しかし、色々な面において大事に至らず終わりました。

(6)また、仲間が不祥事で裁判沙汰になりましたが、これもいつの間にか終わりました。

* 思ってみれば、そういう困難な時に、「大難が小難に 小難が無難に お願いします」と祈る言葉が、聞いて頂いているのかな～と 思っています。ありがたいことです。

・来年もお詣りに行く予定です。

[あとがき]

・今回の例会の冒頭、5年前の3月11日突然発生した東北大震災により、亡くなった御霊に対し全員で黙祷を捧げました。

大震災に遭った岩手県出身の千昌夫の歌「北国の春」は世界中で歌われている大ヒット曲です。その歌詞の中に「こぶし咲く あの北国の 北国の春」と詠まれています。



こぶしの花は、桜と並んで、春の到来を告げる花木なのでしょうか。

・魚津の山で冬眠している「月の輪熊」は長い冬眠からそろそろ目覚め、巣穴から顔を出し、いよいよ活動をする前に排便のため木登りし、「こぶしの花芽」を食べると猟師から聞きました。

木の上で「大」の字になって「花芽」を食べているとすぐ見つけられると言っていました。

しかし、子持ちの熊は、まだまだ巣穴で子育てをし、小熊がしっかり歩けるまで、穴にいるので、親熊の体はげっそりと痩せ細っているそうです。

・被災者の皆さんも、長く長く冬眠生活をしていると、やせ細ってしまわれるのではと心配します。早くこぶしやタラの芽などで元気に活躍されることを祈りたいものです。

・ポールハリス語録一その17(2012年11月23日配信)

「ロータリーにおいて私が最も満足しているのは、寛容と善意を行使することによって、また、国際協調と理解というロータリーの厳しい方針を守ることによって、ロータリーが、友情と親睦、他者への奉仕という理想で世界をめぐることができたことと知ったことです。」

(第164地区のロータリアン手配による1945年米国アラバマ州タスキーギインタビュー語録)